

各地で梅雨入りが発表されましたが、ずっと雨は降っていません。そのせいもあってか日中の長さをより強く感じる日々、明日は夏至です。
現在会員登録数 2,325 人さま。次号は7月20日発行の予定です！

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

【1】お知らせ

【2】コラム

《1》この本読んだ？

《2》イーハトヴ周遊 宮沢賢治の童話を読破する

《3》読書活動ボランティアのためのワンポイント 82

《4》行って来ました！

【3】全国のイベント紹介

【4】プレゼント

【1】お知らせ

● 国際講演会&ワークショップの参加者募集

講 師：ジョン・キラカ（タンザニアの絵本作家・画家・ストーリーテラー）

（1）国際講演会

「タンザニアの絵本作家ジョン・キラカ自作を語るーバオバブの木の下で」

日 時：7月29日（土）午後1時～4時

通 訳：松下宏子さん（関西大学ほか非常勤講師）

対 象：中学生以上

定 員：80名（申込先着順）

参加費：1,000円

（2）ワークショップ

「タンザニアの絵本作家ジョン・キラカさんと絵本をつくろう！」

日 時：7月30日（日）午後1時～4時

対 象：小学生 通訳あり

定 員：30名（申込先着順）

参加費：無 料

○共通事項（国際講演会、ワークショップ）

会 場：大阪府立中央図書館 2階大会議室 （東大阪市荒本）

申込期間：7月1日（土）～7月28日（金）

主 催：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団／大阪府立中央図書館

協 賛：サントリーホールディングス株式会社／パナソニック株式会社／

株式会社富士通システムズアプリケーション&サポート／

ムサシ・アイ・テクノ株式会社

申込み、詳細は、大阪府立中央図書館のHP↓↓

<http://www.library.pref.osaka.jp/site/jibunkan/event2017.html>

● 記念展示「マンガを楽しもう！」

インターネットでマンガについて知ったり、お気に入りのマンガを探したりできるサイト「マンガのひみつ大冒険！」の公開を記念して、サイトに掲載のマンガの中から国際児童文学館所蔵作品を展示しています。（平成28年度子どもゆめ基金助成活動）

会場：大阪府立中央図書館 国際児童文学館 展示コーナー

期間：開催中～6月28日（水）午前9時～午後5時

休館／毎週月曜・第2木曜 ・入館無料

主催：大阪府立中央図書館 国際児童文学館 /

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

ウェブサイト → <http://manga.iiclo.jp/>

● 研究紀要の原稿募集

当財団では「大阪国際児童文学振興財団 研究紀要」第31号の原稿を募集しています。お申し込み、詳細は↓↓

http://www.iiclo.or.jp/06_res-pub/04_journal/boshu.html

◇「大阪国際児童文学振興財団 研究紀要 第30号」を販売しています。

発行：当財団 2017年3月 A5判156頁 1400円＋税

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いします。

お申し込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

【2】コラム

《1》この本読んだ？ Yasuko's & Kazumi's Talk

『太陽と月の大地』コンチャ・ロペス=ナルバエス/著 宇野和美/訳

松本里美/画 福音館書店 2017年4月

対象年齢：小学校高学年以上

あらすじ：16世紀のグラナダ。モリスコ（キリスト教に改宗したイスラム教徒）であるエルナンドの家族とキリスト教徒のマリアの家族の関わりを描いた作品。祖父どうしもエルナンドとマリアも友だちだったが、モリスコは迫害され、エルナンドの兄ミゲルは山賊に、エルナンドと父は奴隷となってマリアの父アルベニーャ伯爵に買われる。

Y：この本を訳されたきっかけは何ですか。

K：スペインでロングセラーの興味深い作品だということ、イスラム教徒が登場する作品が日本の児童文学ではあまりなく、民族や宗教による対立、心の自由と人間の尊厳、難民といった問題は、現代に通じると思いました。

Y：スペインの多くの市民に読まれてきたんですね。

K：1984年に出版されました。思想弾圧や検閲で、自由に本を出版したり読んだりできない独裁政権が終わり、民主化の自由な空気の中で多くの本が

出されました。この作品は当時の代表的な歴史小説だと言えます。

Y：エルナンドの祖父ディエゴがマリアの父アルペーニャ伯爵に敬語を使いますが、スペイン語にも敬語があるのですか。

K：敬語はあります。この物語では、子ども同士は友だち言葉ですが、大人になって主従関係が出てくると敬意をこめた表現が使われています。エルナンドが奴隷になった時にマリアに話しかける時や、後年、マリアに手紙を書く時の言葉遣いの変化はせつなく思いながら訳しました。

Y：好きな場面はどこですか。

K：平和な時代にディエゴが夜明けの山で「人が豆つぶのように小さく見える。遠くから見れば、キリスト教徒もモリスコも区別がつかない。みんなただ、人間というだけだ。」(p. 113) という場面の、ふいに視野が開ける感じが好きです。

Y：私は、エルナンドがマリアと別れる場面で、「悩ましげにうつむくその姿も、動いたたびに衣服がたてる絹ずれの音も、砂についた足跡もおぼえておきたい。」(p. 159) と思うところです。史実を元に行っているのか、全体としてはウエットな表現が排除され、内面描写もほぼない中で、ここだけが、とてもリアルで、苛酷な現実の中でのエルナンドの気持ちが響いてきました。宗教間の憎しみ、内戦は現在につながる大切なテーマであり、この本が訳されたことをとてもうれしく思いました。

K：エルナンドの家族がモリスコからもキリスト教徒からも嫌がらせを受けたり、内戦が始まってしまうと、個人の方ではどうしようもないことが次々と起きたり、戦争の理不尽さ、恐ろしさを感じながら訳しました。

* 今回のゲストは本書の翻訳者の宇野和美さん（K）です。

《2》イーハトヴ周遊 宮沢賢治の童話を読破する

第22回「ビジテリアン大祭」

「論難反駁」と、どんでん返し

食べる／食べられるがテーマの「注文の多い料理店」を2回にわたって取りあげましたが(本メルマガ NO. 80、81 参照)、そこからの連想で、今回は、「ビジテリアン大祭」。「私は昨年九月四日、ニューファウンドランド島の小さな山村、ヒルテイで行われた、ビジテリアン大祭に、日本の信者一同を代表して列席して参りました。」——これが書き出しです。

ビジテリアンは、ベジタリアン。本文には、「日本では菜食主義者と訳しますが主義者というよりは、もう少し意味の強いことが多いのであります。菜食信者と訳したら、或は少し強すぎるかも知れませんが、……」ともあります。「私」は、ビジテリアンを動物たちの生命を惜む「同情派」と病気予防のために動物質を食べない「予防派」の二つに分けます。

ビジテリアン大祭には、シカゴ畜産組合の大きな赤い自働車が乗り込んできて、いろいろな色のビラをくばります。「◎偏狭非文明的なるビジテリアンを排す。マルサスの人口論は、……」といった調子の非難です。

ビジテリアン大祭の次第(プログラム)には、「論難反駁」という時間が設けられています。まず、「異教徒席」から背の高い肥った人が立っています。

「私はビジテリアン諸氏の主張に対して二個条の疑問がある。第一植物性食品の消化率が動物性食品に比して著しく小さいこと。」にはじまる、まとまった意見です。それに対して、白髯の老人が答えます。「只今の御質疑に答えたいと存じます。」これも、重い調子で語ります。その後も、批判とそれに対する反論がつづき、議論は、沸騰していきます。

だんだんに、大まじめで理屈っぽくて、長々しい演説のやりとりが笑えてくるのは、なぜでしょう。これまで、「よだかの星」(本メルマガ NO. 64 参照) や「かしわばやしの夜」(同 NO. 66 参照)に「過剰さ」が積みあがっていく(エスカレートしていく)ことを見てきましたが、ここにも、同じ力学がはたらいています。「過剰さ」が積みあげられたあげくに、「よだかの星」には「浄化」がおとずれ、「かしわばやしの夜」は、あっけない幕切れです。そして、「ビジテリアン大祭」には、大どんでん返しがやってくるのです。

(馬車別当)

(本文の引用は、新潮文庫版『新編 銀河鉄道の夜』によりました。)

《3》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 82

その10 学校でのおはなし会(14) 中高校生のボランティア活動支援

中学生や高校生と読書活動ボランティアの関わりという意味では、ボランティアグループが中高校生に向けておはなし会を行う活動のほかに、中高校生が幼稚園や保育所(園)でおはなし会を行うのを支援するという活動も考えられます。

これは希望者を募ったり、図書委員会等とのコラボで行ったりするため、全校生徒と関わるわけではありませんが、本の選び方、本の読み方、子どもとの接し方などを伝えることで、中高校生が絵本やおはなしの魅力に気づききっかけとなる活動です。中高校生にとっては、先生や保護者以外の地域の大人と接する機会にも、同じ地域の幼い子どもたちと接する機会ともなり、絵本やおはなしを媒介にした地域交流の場になります。

「絵本はおもしろい」と言葉で伝えるよりも、中高校生が実際に幼い子どもに伝える活動を行うことはその実感の度合いが違います。適切な絵本やおはなしを選んでしっかり練習することによって、幼い子どもたちは中高校生の活動に熱心に参加します。

私がこの活動を行う時の留意点だと思うのは、選書の支援をしっかりと行う(幼い子どもが理解できない本を選ばないように)、必ず事前にリハーサルを行う(ひとりよがりの読み方にならないように)、中高校生に対し自尊心を傷つけないようにしながらも、おはなし会の意義と楽しさなど、必要なことはしっかり伝えることだと思います。

* 質問や意見をいただきましたら、お答えしていきたいと思います。(Y)

《4》 行って来ました!

尼崎市総合文化センター美術ホールで7月9日まで開催されている展覧会「柳原良平 アンクル船長の夢」に行ってきました。柳原良平(1931~2015)は、『たぐぼーとのいちにち』(小海永二/作 柳原良平/画 福音館書店 1959年)をはじめたくさんの絵本が出版されていますが、多くの人にはウイスキーの広告キャラクター「アンクルトリス」で知られています。

展示は「船の画家を志す」「船の画家になる」「絵本のしごと」など五つのテーマに分けられています。絵画の他にも装幀本や雑誌、紙で作った船の模型なども展示されており、柳原さんの少年期から晩年までの活動が紹介されています。

「船の画家を志す」では、中学高校時代の友だちに送っていた手描きの船の雑誌や、船の設計図をもとに模型を作っている学生時代の新聞記事などがあり、本当に船が好きだったことがわかります。「船の画家になる」では、切り絵、油彩、水彩、リトグラフなどいろいろな手法で描かれたものがたくさんあり、世界各国を旅して描かれた船と風景を見ていると、波の音や潮風を感じるような気がしました。

絵本の創作は、船の絵本を依頼されたことから始まったそうです。切り絵はかみそりを使ってシュッと切られた線に、船のフォルムの美しさが表現され、ぼこぼこした紙を使うなど、紙の質感の違いもおもしろく感じました。長さが2.8mある絵本『絵巻えほん 船』の原画は、ずらっと横に並べられ迫力があります。昔の丸木船から、歴史に沿って帆船や客船などが世界の海を巡るように細かく描かれていて、乗っている人の表情にはユーモラスで親しみやすいアンクルトリスの面影が漂っていました。(K)

【3】全国イベント紹介

● 児童文学講演会 ーすべての子どもに本のよろこびをー

日 時：6月24日(土)午後1時20分から4時30分

会 場：エル・おおさか 南館7階 (大阪市中央区北浜東)

講 師：宮川健郎(武蔵野大学教授、大阪国際児童文学振興財団理事長)

内 容：第1部 講演会「児童文学と『声』」

第2部 2017年度育てる会総会

第3部 対談「宮沢賢治童話の魅力」

宮川健郎 × 森井弘子(宮沢賢治学会会員)

参加費：有料 当日参加：可

主 催：大阪国際児童文学館を育てる会

後 援：大阪国際児童文学振興財団 / 大阪府子ども文庫連絡会

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

【4】プレゼント

今号のコラム《1》「この本読んだ？」で紹介しました『太陽と月の大地』を1名の方にプレゼントします。ご希望の方は、メールで件名「メルマガ NO.82プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス、よろしければ (5)このメルマガのご感想をお書きのうえ office@iiclo.or.jp にお送りください。

締切は7月10日(月)、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |

また年寄ネタで恐縮ですが、好物のチョコレートを口に入れたら奥歯がぼろっと折れた。1週間で2本、1カ月で3本の歯が消えた…。

芸能人でなくても歯は命。楽しい食生活を続けるために80歳で20本以上の歯を残そうとする8020運動がある。大人の歯は、親知らずの数によって28~32本らしいが、このペースでは7020さえ危うい。「歯と口の健康週間」を過ぎて、心も折れる食えないオハナシ…涙。(A)

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまでお願いします。原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

●このメールマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。

●配信の登録・解除・変更は、

http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html パソコンからどうぞ

●このメールの送信アドレスは配信専用です。

●記事の無断転載はご遠慮ください。

発行：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 <http://www.iiclo.or.jp/>

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北 1-2-1 大阪府立中央図書館内

TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp